

標準天文

番號	英 語	獨 語	支 那 語	邦 語
1591	Annual parallax	jährliche Parallaxe	周年視差	年週視差
1592	Diurnal parallax	tägliche P.	周日視差	日周視差
1593	Equatorial parallax	äquatorielle P.	赤道視差	赤道視差
1594	Dynamical parallax	dynamische P.	力學視差	力學視差
1595	Differential parallax	differentielle P.	較差視差	差別視差
1596	Horizontal parallax	horizontale P.	地平視差	地平視差
1597	Hypothetical parallax	hypothetische P.	—	假定視差
1598	Mean parallax	mittlere P.	平視差	平均視差
1599	Negative parallax	negative P.	負視差	負視差
1600	Relative parallax	relative P.	相對視差	相對視差
1601	Secular parallax	säkulare P.	—	永年視差
1602	Spectroscopic parallax	spektroskopische P.	—	分光視差
1603	Trigonometric parallax	trigonometrische P.	—	三角視差
1604	Solar parallax	die Sonnenparallaxe	—	太陽視差
1605	Stellar parallax	die Sternparallaxe	—	恒星視差
1606	Lunar parallax	die Mondparallaxe	—	月的視差
1607	Optical parallax	optische P.	—	光學視差
1608	Parameter	der Parameter	參數	パラメータ
1609	Parsec	der Parsec	秒差	パーセク
1610	Path	die Bahn	—	經路
1611	Meteoric path	meteorische Bahn	—	流星の經路
1612	Pair	der Doppelstern	雙星	二重星
1613	Optical pair	optischer D.	—	光學的二重星
1614	Physical pair	physikalischer D.	—	物理的二重星
1615	Part	der Teil	—	部
1616	Mechanical part	mechanischer T.	—	機械部
1617	Optical part	optischer T.	—	光學部
1618	Penumbra (of eclipse)	der Halbschatten	半影	半影
1619	Penumbra (of sun-spot)	der Hof, die Penumbra	—	半暗部
1620	Pendulum	der Pendel	擺	振子
1621	Compensation pendulum	der Kompensationspendel	補正擺	補整振子
1622	Half-second pendulum	der Halbskundenpendel	半秒擺	半秒振子
1623	Second-pendulum	der Sekundenpendel	秒擺	一秒振子
1624	Mercury-compensation pendulum	der Quecksilberkompensationspendel	—	水銀補整振子
1625	Periastron	die Sternnähe, das Periastron	—	近星點
1626	Perigee	die Erdnähe, das Perigäum	—	近地點
1627	Perihelion	die Sonnennähe, das Perihelium	—	近日點
1628	Period	die Periode, die Umlaufzeit	—	週期
1629	Approximate period	genäherte P.	—	概略週期
1630	Draconic Period	drakonische P.	—	交點周期
1631	Long period	lange P.	—	長週期
1632	Mean period	mittlere P.	—	平均週期
1633	Osculating period	oskulierende P.	—	接觸週期
1634	Rotation period	die Umdrehungsperiode	—	自轉週期
1635	Saros Period	die Sarosperiode	—	サロス週期
1636	Short period	kurze P.	—	短週期
1637	Sidereal period	siderische P.	—	恒星週期
1638	Sothis period	die Sothisperiode	—	ソチス週期
1639	Synodic period	synodische P.	—	朔望週期
1640	Periodicity	die Periodizität	—	週期性

用語表 (18)

- 1591 地球の公轉のために現はれる視差。多くは恒星界の諸天体の視差を言ふ。
 1592 地球の自轉のために現はれる視差。一般に太陽系中の諸天體に見えるのみ。
 1593 天體から地球の赤道半徑を見た角度。天體の時角によつて變化することは勿論。
 1594 二重星(殊に連星)の軌道から、力學的に星の質量を假定して算定した視差。
 1595 二つの天體の視差の差をいふ。
 1596 地平線上に見える天體の視差で、その時それを地球中心から見る位置との差。
 1597 いろいろ假定の下に計算した視差。例へば光度、分光帶、質量等から間接に計算す
 1598 星群の個々の星の視差から平均したもの。
 1599 負數として算定された視差。之は計算方法や假定等の都合から現はれる結果である
 1600 比較星に比べた相對的な視差。之れに比較星の視差を加へると絶対視差を得る。
 1601 太陽系の永久漸進運動のために現はれるもの。
 1602 星の分光帶の研究から算出される視差。一種の假定視差である。
 1603 星の三角測量の原理から算出された最も本格的な視差で、1832年頃から始まつた。
 1604 太陽から地球の赤道を直角に見た時の角。パリ會議では $8''.80$ 、エロスから $8''.90$ 。
 1605 恒星から地球軌道の長半徑を直角に見た時の角。例へばセンチウル座 α 星は $0''.758$
 1606 月から地球の赤道を直角に見た時の角。ブラウンによると平均 $57'02''.70$ 。
 1607 物理實驗上、光學的に現はれる視差。
 1608 數學運算上に便宜のため用ゐる數。
 1609 恒星視差 $1''$ に相當する距離。308400億キロ、206265天文單位、3.259光年。
 1610 運動する經路。別に軌道などいふ語もあるから、天文上一般には用ひない。
 1611 地球の大氣中の流星が飛行する經路。成層圏以上では軌道と同じだか、以下では別
 1612 二重星を言ふ俗語である。
 1613 光學上、偶然に二重星として見えるもの。
 1614 實際に二重星として、二つの星が相關聯してゐるもの。連星とも言ふ。
 1615 部分。器械や設備等の一部分。
 1616 器械の一部で、レンズや鏡面の如き光學部を除いた部分と言ふ。
 1617 レンズや鏡面の如き光學的な部分。
 1618 地球や月の背後に於いて日光が一部分だけ遮ぎられた空間。
 1619 太陽黒點の一部で、最も中心的な最暗部を圍み、多少明るみのある部分。
 1620 時計などに見る如き振子裝置。
 1621 週期が溫度等のために變らないやう、重心を調節した裝置の振子。
 1622 半秒時に一振りする振子。重心までの長さは約25センチ。
 1623 1秒時に一振りする振子。長さ約1メートルで、天文臺の標準振子時計は多く之れ
 1624 水銀の膨脹で重心を不變にした振子。
 1625 二重星(連星)等に於いて、楕圓軌道上、伴星が主星に最も近づく點。
 1626 月が軌道上に於いて地球に最も接近する點。昔は太陽や諸遊星にも此の語を用ひた
 1627 遊學や彗星の軌道上に於いて、それが太陽に最も接近する點。
 1628 天體が軌道上を一公轉する時間。又、一般に現象の繰り返される間の時間。
 1629 概略の週期。(週期は軌道要素中最も定めにくいものの一つである。)
 1630 昇度點(や降度點)を再び通過する期間。
 1631 長短は常識上の區別であるが、變星は100日以上を長週期と言ふ。
 1632 ミラ型等の他多少變動する週期の平均。又、一般に週期の平均値。
 1633 接觸軌道の要素としての週期。
 1634 讀んで字の通り、自轉の週期。
 1635 バビロニアの昔しから傳はる日月蝕の週期。太陽曆で言へば18年11日 $=6585.3$ 日 $=$
 1636 木星族の如き彗星軌道。又、變星や連星などにも週期の短かいもの。[223朔望月。
 1637 恒星(多くは假想的の)を基準として算出した週期。正味の運動週期を示す。
 1638 エジプトの古曆で曆を季節が一周する年數。1460年。一年を365.0日としたため生ず
 1639 太陽及地球と同じ三角關係の起る週期。例へば新月や満月、對衝、會合等の週期。
 1640 天文上では週期を観察決定することが古來最も重要で、又最も精密に行はれた。